

	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
目指す姿	住民	生活交通としての移動手段の確保・維持
	交通事業者	安定的な経営の維持
現状・課題	公共交通の利用者が減少しているが、運転のできない学生や高齢者等の移動手段を確保するため、利用促進に取り組む必要がある。	
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（第４条第３項）
事務事業概要	中野市地域公共交通対策協議会で実施する公共交通事業への負担金交付、廃止代替バスを含む路線バス運行費補助金の交付、老朽化した鉄道設備等の更新に係る経費の一部負担等を行う。	
令和３年度 の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	地域間幹線系統バス路線の維持・確保（中野木島線・上林線・永田線）	３路線
	廃止代替バス路線の維持・確保（菅線・合庁線・立ヶ花線）	３路線
	ふれあいバス・お出かけタクシーの運行	３路線・１エリア
	鉄道軌道輸送対策事業費補助金	１件
	中野市交通計画の策定	一式

事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	86,462,000	84,128,000	94,347,000
		補正・流用等	円	29,000	15,489,000	－
		合計	円	86,491,000	99,617,000	94,347,000
	決算（見込）額 A		円	69,046,269	99,617,000	－
	財源内訳	国庫支出金	円	4,173,000	18,174,000	2,537,000
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	212,807	252,000	144,000
	R2は予算額	一般財源	円	64,660,462	81,191,000	91,666,000
	正規職員数		人	0.83	0.63	0.63
	人件費 B		円	5,346,860	4,076,100	5,560,380
総事業費 A＋B		円	74,393,129	103,693,100	99,907,380	
市民 1 人当たりコスト		円	1,749	2,446	2,371	

令和3年度の 実施方針	効率的に実施	活動量	減らす	コスト	維持する	成果	維持する
	新しい交通計画の策定に併せて交通システムの見直しを進める。						

事務事業名	公共交通対策事業	部・局	総務部
		課・室	政策情報課
		係	政策推進係

令和３年度 業務スケジュール												
活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
信州まつもと空港利用促進協議会			▼総会・負担金支払									
				チラシ等の配布・PR活動（随時）								
飯山線沿線地域活性化協議会			▼総会・負担金支払									
				チラシ等の配布・PR活動（随時）								
中野市地域公共交通対策協議会		▼幹事会・総会				▼公共交通マップ/時刻表 全戸配布						
		▼負担金支払				ふれあいバス・お出かけタクシー等運行（通年）						
		▼事業計画提出						▼補助金交付申請・事業評価				
地域連携長野電鉄長野線沿線活性化協議会		▼幹事会・総会				PR活動（随時）						
		▼負担金支払					▼協議会主催イベント開催					
路線バス運行事業補助金								補助金交付▼				
									補助金交付▼			
鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金										補助金交付▼		
					</							